課題番号６

優れた農業者の活動推進

～　組織活動の推進　～

対象：空知南東部地区指導農業士・農業士会（８０名）

１　活動の背景

指導農業士・農業士の役割は、地域の若手農業者への活動支援や資質向上に努めること

地域若手農業者や新規参入者を対象に指導農業士が支援する。

〈目標〉若手農業者への技術指導回数　２回

２　活動の経過

★　役員会の開催

新規就農者、栗山町・由仁町４Ｈクラブ員の若手農業者への支援方針について協議

★　若手農業者への技術指導

農業士会の若手農業者への研修会を前年よりさらに充実 ➡ 栗山町・由仁町４Ｈクラブ、新規就農者を対象にM指導農業士ほ場(由仁町・畑作)　K指導農業士(栗山町・園芸)で技術指導を実施。

★　新規参入者の支援をテーマとした意見交換会(２回)

栗山町４Ｈクラブが主催の新たな取り組みとして役場、栗山町振興公社、ＪＡそらち南など関係機関との意見交換会に出席

➡ 農業士会は、アドバイザーとして地域の状況や悩み、就農支援に対してのアドバイスなどを助言した。

３　成果の具体的内容

若手農業者への技術指導回数
現況１回→目標２回→実績２回　100％

☆　**若手農業者への技術指導**

（M指導農業士ほ場）

・技術指導内容：人力を活用した水稲密播中苗栽培・直播栽培と畑作、野菜を組み入れた輪作体系実践。
・M氏の思い　：指導農業士として担い手育成はとても大事なこと。栗山の青年とはつながりがないので良い機会。
・青年の感想　：由仁町の畑作の栽培状況を聞く機会があるのは、自分のためや新規参入者のためにも良いこと。

（K指導農業士ほ場）

・技術指導内容：トマトの水管理は品種によって違う。トマトの管理は45日後の生育のために行う。
・K氏の思い　：野菜栽培は好きでないとできない。いらない機械を買わずに必要なところにお金を出す。
・青年の感想　：いろいろな話を聞いて参考になった。膝を交えて話を是非聞きたい。

青年の反応

・視察研修を通して、技術や資金面など新規参入者のみならずクラブ員も大変勉強になった。
・また、交流も深まり、より密接な関係を持つことができた。

指導農業士の反応

・指導農業士としての担い手育成に貢献でき、つながりをもつことができた。将来の農業士・指導農業士の発掘にも繋がる。

☆　**新規参入者の支援をテーマに意見交換会**

指導農業士からは、地域の状況や提供予定の土地の動向についてアドバイスした。

４　今後の課題と対応

☆　若手農業者への研修会実施への支援